

日頃からの確認 土砂災害危険区域や避難場所を確認しておきましょう！

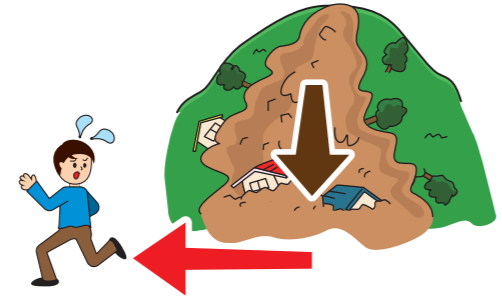
避難場所や避難路を確認しておきましょう

日頃から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。



逃げ方を覚えておきましょう

土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して、直角に逃げましょう。



非常食として持ち出す物を準備しておきましょう

避難後の生活必需品として、最低3日分用意しておきましょう。



御嵩町内で発生した、過去の土砂災害写真



国道21号線(次月地内)



国道21号線(次月地内)



県道井尻八百津線(谷地内)



町道水口東山線(前沢地内)



町道上之郷66号線(次月地内)



板良配水地(地すべり)

御嵩町からの情報 情報に注意し、速やかに行動しましょう。

御嵩町からは、「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示」の3段階の情報を発表します。発令された場合には速やかに行動を始めて下さい。

避難準備・高齢者等避難開始

◆要援護者など特に避難行動に時間を要する方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。

避難勧告

◆通常の避難行動ができる方が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状況。

避難指示

◆前兆現象の発生や、現在の切迫した状況および地域の特性等から人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。
◆人的被害の発生した状況。

発令時の状況

◆お年寄りや体の不自由な方、小さなお子さんのいるご家庭では、避難を始めてください。
◆そのほかの方もご家族との連絡、非常用持ち出し品の用意など、避難の準備をしておきましょう。

◆計画された避難場所への避難を始めてください。
◆避難時には、隣近所に声を掛け合い、お互いに助け合って避難しましょう。

◆生命にかかわる危険が迫っていますので直ちに避難を完了してください。
◆避難が難しい状況にある方は、近くの安全な場所へ移動するなど身の安全を確保してください。

みなさんの行動

雨が強くなってきたら 積極的に雨量情報、予報警報などの情報を入手しましょう。

土砂災害を防止するために様々な対策が行なわれていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。

被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが**気象情報に注意して早めに避難すること**が大切です。

テレビ・ラジオ・防災無線などの気象情報に注意してください。



- ◆まずはテレビやラジオ等で気象警報などの情報を入手しましょう。
- ◆雨が強くなってきたら、電話(177)やインターネットでも確認しましょう。

インターネット

岐阜地方気象台 <https://www.jma-net.go.jp/gifu/>
岐阜県 総合防災ポータル <http://www.pref.gifu.lg.jp/bousai/>
ぎふ土砂災害警戒情報ポータル <http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/>
岐阜県 川の防災情報 <http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/>
御嵩町ホームページ <http://www.town.mitake.gifu.jp/>

携帯電話

御嵩町携帯版ホームページ <http://www.town.mitake.gifu.jp/mobile/>
ぎふ土砂災害警戒情報ポータル <http://alert.sabo.pref.gifu.lg.jp/h/>
岐阜県 川の防災情報 <http://www.kasen.pref.gifu.lg.jp/h/>

御嵩町防災ハザードマップ

ため池について

ため池の役割

ため池は、多くの場合町内の農地をかんがいする為に作られた貯水池です。農業利用のほか、防火用水としての利用や水害(洪水)などから地域を守る為の調整、抑制機能を備えています。また景観にも優れた箇所もあり、多面的機能を有した大切な施設となっています。

ため池の規模



地震や豪雨による堤体の決壊

地震によりため池が決壊する被災形態、及びその被災メカニズムは下記のことと想定されています。堤体の異常に気がついたら、御嵩町役場まで緊急連絡するとともに、浸水想定区域の外に退避するようにしてください。

被災形態	被災のメカニズムと堤体の注意点
堤体にひび割れ・亀裂が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・堤体頂部に左図のようなひび割れ・亀裂が発生する場合があります。 ・ひび割れ・亀裂は水みちとなり堤体を破壊することがあります。 ・特に注意が必要な被災形態です。
堤体に沈下ひび割れ・亀裂が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・堤体は、形状を保ちながら沈下する場合があります。 ・沈下する場合は、ひび割れ・亀裂が発生する場合があります。 ・堤体がある地盤が軟らかい場合に発生しやすい被災形態です。
堤体に斜面崩壊が発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・堤体斜面の上部が沈下し、下部がはらみ出す変形が発生する場合があります。 ・堤体が弱くなり堤体が破壊することがあります。
堤体の斜面にすべりが発生した場合	<ul style="list-style-type: none"> ・地震動により、堤体の法面がすべり破壊を起こすことがあります。